

「薬」について調べる

薬には、医師の診断をもとに処方される「処方薬」（医療用医薬品）と、薬局で自由に買うことのできる「市販薬」（一般用医薬品）の2種類があります。

自分の服用している薬がどういう薬かを調べるための本や信頼できるインターネットのサイトを紹介します。

図書で調べる

1. 薬についての総合事典

- 『くすりの事典』（片山志郎／監修 成美堂出版 ※年刊） 【499.1／クスリ／一般】

国内で医療用として承認・使用されている既存薬の最新情報に加え、新たに発売された新薬の情報を網羅した事典。薬が体の中で効くしくみ、使用上の注意、副作用、他の薬との飲み合わせ等を徹底解説する。

- 『お薬事典』（一色高明／監修，郷龍一／執筆 ユーキャン学び出版 ※年刊）

【499.1／オクス／一般】

掲載写真点数6000点超、お薬品目約6200種をカバーしたオールカラーのお薬事典。病院で処方されるくすりが「名前」でさっと引けて、ジェネリック薬の有無もわかるほか、それぞれの薬価もわかる。

2. 薬の名前を調べる

- 『薬剤識別コード事典』（医薬ジャーナル社編集部／編 医薬ジャーナル社※年刊）

【499.1／ヤクザ／一般】

数字コード、アルファベット、会社ロゴマーク、記号などから検索できます。商品名、成分名、主成分含有量も記載されています。

3. どんな薬かを調べる

- ①医療用医薬品（処方薬）を調べる

- 『JAPIC医療用医薬品集』

（日本医薬情報センター編 日本医薬情報センター※年刊） 【499.1／シヤヒ／一般】

国内の医療用医薬品のほぼ全品目を網羅しています。医薬品の添付文書の情報をまとめたもので、成分、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などが記載されています。

●『今日の治療薬』（浦部晶夫ほか／編 南江堂※年刊）【499.1／コンニ／一般】

薬効分類別に章立てし、各章は各薬剤の特徴などの解説及び便覧で構成されています。便覧は薬剤名、組成・剤形・容量、用量、適応などを表形式で簡潔に記載されています。

●『治療薬マニュアル』（北原光夫／編 医学書院※年刊）【499.1／刊ヨ／一般】

最新の添付文書情報を基に臨床解説を加えて編集されています。各薬品の特徴、効能、用法、注意・禁忌事項が記載されています。

●『医者からもらった薬がわかる本2016-2017年版』

（医薬制度研究会／著 法研 2016.5）【499.1／ヤク／一般】

処方された薬の効能、副作用、保健薬価、注意点、類似薬などを詳しく解説した1冊。2016年4月改訂の新薬価を掲載し、先発薬とジェネリック医薬品の区別と価格差も収録した第30版。

●『治療薬ハンドブック ～ 薬剤選択と処方のポイント』

（堀正二／編 じほう ※年刊）【499.1／刊ヨ／一般】

「処方のポイント」、「薬学管理のポイント」、「粉碎可否情報」など、医療従事者向けの情報が豊富。ジェネリック医薬品や同一成分含有のOTC医薬品も記載。妊婦への投薬の危険度を6段階で評価。ガイドラインや臨床試験の最新動向も分かります。

●『保険薬事典Plus+ 平成29年4月版』

（薬業研究会／編 じほう 2017.4）【499.1／ホク／一般】

「適応・用法」情報も確認できる、医療用医薬品リスト。同成分の中で、剤形・薬価別に製品をまとめられ、薬価の違いがひと目でわかります。診療報酬上の後発品や先発・準先発品といった指定を分かりやすくマーク表記しています。2色刷りで見やすく、一般名からも商品名からもすぐに探せます。

②一般用医薬品（市販薬）を調べる

●『JAPIC 一般用医薬品集』

（日本医薬情報センター編 日本医薬情報センター※年刊）【499.1／ヤヒ／一般】

国内の薬局薬店で販売されているほとんどの店頭販売一般薬（検査薬を含む）と、配置薬のおよそ13,000品目のデータを掲載しています。

●『OTC医薬品事典』（日本OTC医薬品情報研究会／編 じほう 隔年刊）

【499.1／オチ／一般】

日本OTC医薬品協会会員会社が生産・販売されているOTC医薬品2478品目及び、指定医薬部外品152品目を収載。製品名、会社名、症状名、成分名の4つの

索引で検索可能。「指定医薬部外品」も収載。各製品情報、製品名・会社名索引に最新のリスク区分を明記。

4. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）を調べる

先発医薬品の特許が切れた後に、成分や規格等が同一で、治療学的に同等であるとして承認される医薬品を「後発医薬品」（いわゆるジェネリック医薬品）と呼んでいます。

●『ジェネリック医薬品リスト』（医薬情報研究所／制作 じほう 年刊）

【499.1／ジエネ／一般】

先発・代表医薬品ごとにどのような後発医薬品があるかを調べることができるように編集したもの。先発・代表薬との薬価差情報もあります。

5. 副作用を調べる

●『医薬品副作用情報』（薬務公報社）【491.5／イヤ／一般】

厚生労働省が収集した副作用情報を医療関係者に提供するために作成されたものです。巻末に「五十音別索引」と「薬効分類別索引」があります。

●『医薬品副作用対応ポケットガイド』（越前宏俊／著 医学書院 2015.2）

【491.5／イフェ／一般】

医薬品によって引き起こされる副作用について、重篤度や発生頻度、症状、対応・処置などの情報をまとめた実地書。厚生労働省でまとめられた「重篤副作用疾患別対応マニュアル」で紹介されている75の症例をさらに拡充させ、112症例を紹介する。

インターネットで調べる

■ 医薬品医療機器総合機構

☞ <http://www.pmda.go.jp/pnavi-01.html>

一般の方におすすめのコンテンツとして、「くすりQ&A」「患者向医薬品ガイド」「重篤副作用マニュアル」や、くすりについての相談窓口などの情報を提供。

■「くすりのしおり」（くすりの適正使用協議会）

☞ <http://www.rad-ar.or.jp/siori/>

約16,000種の医療用医薬品が調べられます。

■「おくすり検索」（セルフメディケーション・データベースセンター）

☞ <http://search.jsm-db.info/main2.php>

セルフメディケーション・データベースセンターが運営しており、市販薬を症状や製品名、メーカー名から検索可能です。

■「かんじゃさんの薬箱」(日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会)

☞ http://www.generic.gr.jp/index_sr.php

ジェネリック医薬品を調べることができます。

■「iyaku Search 医薬品情報データベース」(財団法人日本医薬情報センター (JAPIC))

☞ <http://database.japic.or.jp/nw/index>

国内外の医薬品に関するデータベースで、医薬文献情報、学会演題情報、添付文書情報、規制措置情報、臨床試験情報を検索することができます。

■「とっとり医療情報ネット」(医療機関・薬局検索)

☞ <http://medinfo.pref.tottori.lg.jp/>

市町村ごとに病院や薬局を検索することができます。

県内相談窓口

◆県の「医療安全相談窓口」

相談窓口	住所	電話	ファクシミリ
県庁福祉保健部医療指導課	鳥取市東町 1-220	0857-26-7189	0857-26-8168
鳥取市保健所 健康支援課	鳥取市富安 2 丁目 104-2	0857-22-5691	0857-22-5669
中部総合事務所福祉保健局	倉吉市東巖城町 2	0858-23-3144	0858-23-4803
西部総合事務所福祉保健局	米子市東福原 1 丁目 1-45	0859-31-9316	0859-34-1392

受付時間：平日 8 時 30 分から 12 時まで、13 時から 17 時 15 分まで

(土曜・日曜・祝日・年末年始は休み)

◆「鳥取県薬剤師会薬事情報センター」

TEL 0859-38-1411 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始は除く)

★このリストに掲載の資料以外にも、関連資料を所蔵しています。

お探しの資料が見つからない場合は、お気軽に職員にお尋ねください。

★鳥取県立図書館の図書はお近くの公共図書館を通して貸出できます。

お読みにになりたい図書がありましたら職員にお尋ねください。

★このリストで紹介した情報は一例です。図書館がその内容を推薦するものではありません。

★鳥取県立図書館のホームページにも、「医療・健康」に関する情報を掲載しています。 <http://www.library.pref.tottori.jp/>

お問合せ先：鳥取県立図書館 〒680-0017 鳥取市尚徳町 101

電話：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996

E-mail：toshokan@pref.tottori.lg.jp

